



煌 煌



「先生」として

教務主任 新保 智恵

「先生はなぜ先生になろうと思ったんですか」「なぜ先生になったんですか」とよく聞かれる。これらの質問が一番答えにくい。なぜなら、私は先生になりたいと思っていなかったからである。

教職に就いている者の発言としては誤解を招きやすいのであまり語らないが、担任として毎日接していた自分のクラスの生徒たちには、進路の学習や道徳の授業等で話してきた。簡単に言うと、就きたい仕事に就けなかったことと、長女なので親から強く強く強く富山に戻るよう言われたためである。やりたい職業に就くために、地べたに這いつくばってでも挑み続ける決断をすることもできたはずなのだ。しかし、最後は自分の決断で教職を選んだ。

以前、老舗和菓子屋のご主人に、職業や生き方について生徒に語ってもらったことがあった。ご主人は実に多才な方で、違う仕事に就きたかったこと、紆余曲折があつて家業を継いだことを話してくださった。「もしあの時、違う道に進んでいたら違う人生だったかもしれないと考えることがなかったわけでない。自分の思いとは違っていたけれども、今の仕事を一生懸命に生きてきた。すると、自分には見えなかった今の仕事の面白さや奥深さが見えてくるようになった。人生、すべてが自分の思い通りになるわけではない。自分に与えられた状況で、自分にできることを精一杯やる。そうしたら、新しい発見があり、新しい喜びがある。」そうおっしゃったのが印象に残っている。

どんな道を歩むことになっても、そこでどう生きるかだと、私も思う。事実、私は教職に就き、この仕事でなければ出会えなかった多くの人たちと出会い、様々な経験をし、日々学び、たくさんのお宝を得ている。

誰かのせいでもなく、時代のせいでもなく、今の状況で自分はどんな選択をするのか、そしてどう生きるか。それが明日の自分につながるのだと思う。今、自分に何ができるか。できることがきっとある。「永遠の二十歳」は、今日も自分を鼓舞しながら「先生」として頑張っている。

12月の行事予定

12月 2日 (月) 期末考査 (理、英、音・保体)	19日 (木) 球技大会
3日 (火) 期末考査 (社・国)	20日 (金) 保護者会
4日 (水) 期末考査 (数、技・家)	23日 (月) 保護者会
11日 (水) 学校保健委員会	24日 (火) 終業式
16日 (月) 書初練習	25日 (水) 冬季休業

大掃除

～1月7日 (火)



命の授業

11月13日(水)、厚生連高岡病身の瀧上恵子先生より自分の命の大切さについて学びました。後半は、妊婦体験をしたり、赤ちゃんと同じ重さの人形を抱いたりして、自分の大切さやこれからの自分について見つめました。

親が命がけで苦労したおかげで、今の自分があることを実感しました。僕は全く生まれてきた時のことを覚えていませんが、親には忘れられない出来事だということが分かりました。親に感謝したいと思います。

自分が生まれてきたことは奇跡的なことなのだとこの授業で分かり、自分の命を大切にしようと思いました。母は、自分を産むために大変な苦労をしてきたことが分かりました。

体験を通して、赤ちゃんがどう成長していくのかを知れました。お母さんの大変さや赤ちゃんをだっこした時の緊張感に気づくことができたと思うので、とてもよい経験をする事ができたと思います。



りんご狩り

11月15日(金)の放課後、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」でもお世話になった国吉農林振興会に管理してもらっている国吉中学校生徒会がオーナーとなっているりんごを採りに行ってきました。



論理コミュニケーションの授業が始まりました！



11月6日(水)より、新しい学び「論理コミュニケーション」を学校から離れた三重県より教えていただく「遠隔授業」という形でスタートしました。人に自分の思いをよりよく伝えるための手法を身に付けていきます。齋田(さいた)先生と画面でのやりとりで学習が進んで行きますが、少しずつやりとりも慣れてきています。

